

# 凡 例

1. 本書は、農薬の有効成分並びに製剤に由来する品目の特性を明らかにし、それに基づく使用上のポイントを明確にすることをねらいにおいて編集した。このため、注意事項などの詳細は省略しているので、実際の使用に当っては、使用する製品のラベルを熟読願いたい。
2. 本文に収録する品目は、基本として令和3年9月末現在の登録農薬のうちJA全農取扱い品目を中心に選定した。他の主要品目については、別項(付)で適用と使用方法のみを五十音順に記載した。また本書の収録品目に関連する事項を参考資料として掲載した。
3. 本文の記載順序は以下のとおりである。
  - (1) 農薬を殺虫剤(虫)、殺菌剤(菌)、殺虫殺菌剤(虫・菌)、除草剤(草)、植物成長調整剤(調)、展着剤(展)、殺そ剤・その他に区分し、各剤の商品名の五十音順にしたがって配列した。なお、商品名の頭に数字のある商品及びアルファベットが付く商品(ABC順)は上記の後に掲載した。
  - (2) 単剤で害虫及び病害の双方に有効な品目は、日本植物防疫協会編「農薬要覧」の分類によった。
  - (3) 同一薬剤でいくつも剤型があるものは、原則として粉剤(含DL剤)、粉粒剤(含微粒剤F)、粒剤、豆つぶ剤、ジャンボ、粉末、水溶剤、水和剤、ドライフロアブル、顆粒水溶剤、顆粒水和剤、フロアブル剤、乳剤、EW、液剤、油剤、エアゾル、マイクロカプセル、ペースト、くん煙剤、塗布剤、ベイトの順序とした。
  - (4) 同一薬剤、同一剤型で、有効成分濃度が異なるものは、低濃度から高濃度の順に配列した。
  - (5) 同一成分で商品名を異にする品目は音順にしたがって記載したが、必ずしも網羅していない場合がある。
  - (6) 除草剤において、同一成分・同一名称で剤型が異なるもの(1キロ粒剤、フロアブル、ジャンボ等)については、可能な限り2~3剤型まとめて表記した。但し、剤型により取扱メーカーが異なる場合は個別表記とした。

4. 本文の構成及び記載内容は以下のとおりである。

(1) タイトル欄には商品名のほかに種類名、有効成分、製品の性状、製剤毒性、取扱メーカー名及び原体メーカー名を記載し、消防法及び PRTR 法に該当する場合は併記した。

① 有効成分は一般名と含有量を併記し、できる限り化学構造又は機能上の分類を示した。化学構造式は品目ごとの記載は省略し、参考資料「有効成分特性一覧表」にまとめた。

② PRTR 法(「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」の略称)に該当する化学物質を含む品目には、指定化学物質の名称、種別及び含有量を記載した。なお、同一品目でも取扱メーカーによりその他該当成分の含有量が異なる場合は最小と最大の範囲で示した。また、混合キシレン含有剤については、キシレンとエチルベンゼンの含有量を示したが、複数メーカー製造で含有量が異なる場合については、主要メーカーの含有量の平均値及び含有量範囲の最小値、最大値を示した。

③ 毒性は「毒物及び劇物取締法」による判定に基づき記載した。なお、毒物及び劇物に該当しないものは「普通物」と記載した。

④ 消防法は、「消防法」の危険物に該当する場合は、その区分を記載した。該当しない場合は「-」を記載した。

⑤ 取扱メーカー名は、主要なメーカー名のみを略称で記載した。

なお、地域限定扱いのものは\*印を付記した。

⑥ 原体メーカー名は、品目の取扱メーカーと取引のある会社名を略称で記載した。同一原体を2社以上で製造している場合は、それらの会社名を「・」でつないで併記した。

有効成分が2種以上で構成されている品目の原体メーカー名は、種類名の構成順序にしたがって、「,」印で区切りながら順に記載した。

なお、銅製剤、石灰硫黄合剤、マシン油剤、天然物化合物の原体メーカー名は記載を省略した。

メーカー名及びその略称は、別記3「取扱・原体メーカー名とその略称」のとおり(株式会社は省略)。

(2) 【品目特性】欄では、その品目の特長などで特異的なものを簡便に記述した。

防除上の特性については、速効性、遅効性、残効性、浸透移行性、化学安定性な

どを中心に記述した。有効成分の作用機作については品目ごとの記載は省略し、参考資料「有効成分特性一覧表」にまとめた。

- (3) 【使用上のポイント】欄では、品目の特性を生かして防除効果をあげるための使用方法に重点をおいて記述した。
- (4) 【適用と使用法】欄は、原則としてそれぞれの令和3年9月末現在の農薬登録票によった。但し、使用制限となる変更が確定しているものは、令和3年11月末までの内容を反映させた。

同一薬剤名(会社名を除き)で登録内容が異なる場合は、網羅的な登録内容を記載した。

使用方法は表に簡単な表現で示してあるが、品目の特性、使用上のポイントを生かした適切な使用方法に留意すること。








- (5) 【薬効・薬害等の注意】欄では、剤の特性による薬効・薬害について、特に注意する点を記載した。作物ごとの薬害注意は別項「薬害注意事項解説」にまとめた。
- (6) 【安全対策上の注意】欄では、品目の特性として注意する事項を絵表示マーク主体に記載し、特に注意すべき事項はその旨記述した。水産動植物に対し注意を要する場合、その程度を易略して記載したので、使用に当っては、製品ラベルを確認すること。ラベル記載例と本資料の表記方法は別記2「農薬の水産動植物に関する注意事項」にまとめた。

絵表示マークは別記1にまとめた。なお、カギマークについては、厳重保管する薬剤にのみ記載した。









- (7) 農薬全般に共通する安全使用上の注意事項、空中散布及び無人航空機(無人ヘリコプター等)による散布・滴下に関する注意事項、農薬の飛散(ドリフト)防止に関する注意事項、育苗時の散布に関する注意事項、水稻除草剤散布に関する注意事項、街路・公園・堤とう等で使用する場合の注意事項、ミツバチに対する注意事項及び適用作物群に関する注意事項は「共通注意事項」にまとめて記載し、個別に記載することは省略した。
5. 本書についてのお問い合わせは、参考資料末尾「問い合わせ先」に示したJ A全農又は「クミアイ安全防除推進協会」会員メーカーにお願いします。

## 別記1 絵表示マーク

### ●行為の強制マーク

	散布時は、農業用マスク（防護マスク）を着用する。
	投薬作業の際は、吸引缶付き防護マスクを着用する。
	散布液調製時は、保護メガネを着用し、薬液が眼に入らぬように注意。
	散布時は、不浸透性手袋を着用する。
	散布時は、不浸透性防除衣を着用する。
	必ず農業保管庫（箱）に入れ、カギをかけて保管する。
	その他、行為の強制を喚起する事項の場合 *その際は、記号及びその意味する文字が記載してある。

### ●行為の禁止マーク

	魚毒性等……水産動植物に強い影響あり。 河川、湖沼、海域、養殖池に飛散・流入するおそれのある場所では使用しない。
	蚕に長期間毒性があるので、付近に桑園がある所では使用しない。
	かぶれやすい人は散布作業はしない。施用した作物などに触れない。
	関係機関（都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めること。
	自動車、壁など塗装面、大理石、御影石にかからないようにする。（塗装汚染・変色）
	ハウス内や噴霧のこもりやすい場所では使わない。
	飲用を禁止する場合 *この例のように記号に、飲めません又は飲用禁止の文字が記載してある。
	その他使用禁止の場合 *この例のように記号及び、使用禁止の文字と意味する文章が記載してある。

## 別記2 農薬の水産動植物に関する注意事項〔本書での記載例及び主なラベル表示例〕

注意の種類	適用場所・用途等	【安全対策上の注意】欄での記載例	農薬ラベルでの主な表示例 (各項目の単独又は複数の組合せで表示される)
農業を使用する際の注意	水田、水田畦畔、水稲箱育苗等に使用される薬剤の場合	魚類に影響を及ぼすので使用時は注意。	魚毒性等…… ・養魚田では使用しない(魚類) ・養殖池等周辺での使用はさける(魚類) ・空中散布で使用する場合は、河川、養殖池等に飛散しないよう特に注意 ・使用した苗は養魚田に移植しない(箱処理剤) ・養魚田周辺での使用には注意(水田畦畔処理剤)
		魚類に影響を及ぼすので使用時並びに使用後も注意	魚毒性等…… ・養魚田では使用しない(魚類) ・養殖池等周辺での使用はさける(魚類) ・散布後は、河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意 ・空中散布で使用する場合は、河川、養殖池等に飛散しないよう特に注意 ・移植後は、河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意(箱処理剤) ・養魚田周辺での使用には特に注意(水田畦畔処理剤) ・河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意(水田畦畔処理剤)
		甲殻類、藻類に影響を及ぼすので、使用時並びに使用後も注意	魚毒性等…… ・河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意(甲殻類、藻類) ・散布後は水管理に注意 ・空中散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意 ・河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意(箱処理剤)
	畑地で使用される薬剤の場合	魚類、甲殻類、藻類に影響を及ぼす恐れがあるので使用時は注意	魚毒性等…… ・河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意 ・空中散布で使用する場合は、飛散しないように特に注意
		魚類に強い影響を及ぼす恐れがあるので特に注意(注意マークも表示)	魚毒性等…… ・水産動植物(魚類)に強い影響あり ・河川、湖沼及び海域等に飛散、流入しないよう注意 ・養殖池周辺での使用はさける ・空中散布で使用する場合は、飛散しないように特に注意
	その他の散布剤の場合	魚類、甲殻類、藻類に影響を及ぼす恐れがあるので使用時は注意	魚毒性等…… ・施設内に水槽(水産動植物)を置かない(くん煙剤等) ・池、水槽等(水産動植物)に噴霧が入らないよう注意(エアゾル剤) ・養殖池等周辺での使用には注意(単木処理剤)
	有効成分の作用性等に応じた事項	○●に特に影響を及ぼすので注意(注意マークも表示)	魚毒性等……○●に対して特に影響を及ぼすので注意
		魚類に低濃度でも影響を及ぼすので注意(注意マークも表示)	魚毒性等……低濃度でも魚類に平衡失調を起こすので注意
		魚類に貧血症状を起こすので注意(注意マークも表示)	魚毒性等……魚類に貧血症状を起こすので注意
		魚類に低濃度でも影響を及ぼすので注意(注意マークも表示)	魚毒性等……低濃度でも魚類に背曲がりを起こすので注意
		甲殻類に影響を及ぼすので注意(注意マークも表示)	魚毒性等……甲殻類に対して影響を及ぼすおそれがあるので注意
	容器等の洗浄水、空容器等の処理に係る注意	一般散布剤、空散剤等	散布器具・容器の洗浄水及び空容器は適切に処理する
種子消毒剤		・使用残液及び容器の洗浄水等は河川等に流さず適切に処理する	
くん煙剤等		・空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する	
塗布、樹幹注入剤、誘引剤等		・容器の洗浄水、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する ・空容器は必ず回収し、水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する	

### 別記3 取扱・原体メーカー名とその略称

会社名	略称
BASF ジャパン	BASF
CBC	CBC
Meiji Seika ファルマ	Meiji
OAT アグリオ	OAT
TKI	TKI
アグロカネショウ	カネショウ
アダマ・ジャパン	アダマ
アピオン	アピオン
アリストライフサイエンス	アリスタ LS
石原バイオサイエンス	石原
石原産業	石原産業
出光アグリ	出光アグリ
出光興産	出光興産
エス・ディー・エス バイオテック	エス・ディー・エス
エフエムシー・ケミカルズ	FMC
エボニック・ゴールドシュミット	エボニック
大内新興化学工業	大内新興
大塚薬品工業	大塚薬品
花王	花王
科研製薬	科研製薬
片倉工業	片倉工業
協友アグリ	協友アグリ
クミアイ化学工業	クミカ
グリーンナー	グリーンナー
クレハ	クレハ
ケミノバ	ケミノバ
ゴーワン カンパニー	ゴーワン
興人	興人
興農	興農
コルテバ・アグロサイエンス日本	コルテバ
サングリーン	サングリーン
サンケイ化学	サンケイ
三光化学工業	三光化学
三明ケミカル	三明
白石カルシウム	白石
信越化学工業	信越化学
シンジェンタ ジャパン	シンジェンタ
住商アグロインターナショナル	住商アグロ
住化テクノサービス	住化テクノ
住友化学	住友化学
セレクサアグリ	セレクサアグリ

会社名	略称
全国農業協同組合連合会	全農
セントラル硝子	セントラル硝子
第一農薬	一農
大日本除虫菊	大日本
ダウ・アグロサイエンス日本	ダウ
ダウ・ケミカル	ダウ・ケミカル
デュポン・プロダクション・アグリサイエンス	デュポン
東亜合成	東亜合成
東邦亜鉛	東邦亜鉛
ナガセアグリテック	ナガセ
長瀬産業	長瀬産業
南海化学工業	南海化学
日産化学	日産
ニッソーグリーン	ニッソーグリーン
日本カーリット	カーリット
日本化学工業	日本化学
日本化薬	日本化薬
日本曹達	日本曹達
日本農薬	日農
日本パーオキシサイド	パーオキシサイド
ノイドルフ	ノイドルフ
野田食菌工業	野田食菌
バイエルクロップサイエンス	バイエル
バックマンラボラトリーズ	バックマン
扶桑化学工業	扶桑化学
細井化学工業	細井化学
ホクサン	ホクサン
北興化学工業	北興
保土谷化学工業	保土谷
保土谷 UPL	保土谷 UPL
マルガリータ	マルガリータ
丸善薬品産業	丸善薬品
丸紅アグロテック	丸紅アグロ
丸和バイオケミカル	丸和
三井化学アグロ	三井アグロ
ユーピーエルジャパン	UPL
米澤化学	米澤化学
ライオン	ライオン
琉球産経	琉産
ロンザジャパン	ロンザ